

支援者を
伸ばす

実践セミナー



子どもの発達支援と家族支援の重要性

～子どもと家族を取り巻く背景を理解しながら～

日時：2019年8月10日（土）・11日（日）

会場：北とぴあ（東京都北区王子1丁目11-1）

セミナー概要

日時：2019年8月10日（土）、11日（日）

会場：北とぴあ（東京都北区王子1-11-1）JR/東京メトロ南北線 王子駅より徒歩1分

参加対象者：発達障害医療、福祉、教育、行政関係、保護者 他

【定員・参加費】定員100名（土曜日のみ参加は25名）

参加日程	一般	日本発達障害連盟 2019年賛助会員
8月10日（土）のみ	9,000円	8,100円
2日間参加	15,000円	13,500円

【留意事項】

- ・当連盟加盟団体の正会員と賛助会員とは異なりますのでご注意ください。
- ・施設での賛助会員の賛助会員価格適用人数は2名までとなります。
- ・宿泊の斡旋は行っておりません。
- ・お申込み後、2週間以内にご入金をお願いいたします。（確認できない場合、キャンセルとさせていただきます。）
- ・受講料のご入金後のキャンセル・返金はできませんが代理参加は可能です。

お申込み方法

※参加費のご入金確認でお申込み受付とさせていただきますので、ご注意ください。

ホームページからのお申込み

※受付終了後、自動返信メールが送信されますので、内容確認の上、ご入金ください。

※ホームページからお申込みいただきましても参加費の決済はできませんので、ご注意ください。

ご入金確認後、7月16日より順次受講証等を発送いたします。

1 日目
8 月 10 日
(土)



※受付は 9:30 ~ 9:55、昼食は 12:15 ~ 13:30

10:15 ~ 12:25
(途中 10 分休憩 120 分)

1 部：【家族支援と発達支援】

～子どもの発達支援を家族という文脈に織りなすということ～

2 部：【家族支援のコミュニケーション】

～「障害」を伝える、子どもの理解を分かち合う～

家族支援で大切にしたいことは何なのか。障害受容から始まり、その子がどんな発達段階なのか、どういう特性を持っているのか家族が理解するためにどう支援していくのか。また、親子関係についても様々な問題が起きる前に、支援者としてどう支援していくのか、実際のケースから考え学びます。

大正大学 心理社会学部 臨床心理学科教授
公益財団法人 日本ダウン症協会 代表理事

玉井 邦夫

13:30 ~ 16:00
(150 分)

【子どもの理解と実演】

子どもたちは、大人から見ると、不思議な行動、謎な行動をとることがあります。大人からは困ったなあとと思う行動もあるでしょう。これらの行動に対応するためには、まずは行動を理解する必要があります。その時に参考になる視点のひとつに「感覚統合理論」があります。「感覚統合」のめがねをかけて、子どもたちの行動・様子を見てみませんか？

うめだあけぼの学園 副園長 酒井 康年

2 日目
8 月 11 日
(日)



※受付は 9:00 ~ 9:25

9:30 ~ 12:00
(150 分)

【デモンストレーションと演習】

事例検討1 ～支援者とクライアント 双方の安全を担保する事例検討のあり方～

事例検討2 実技・演習

実際のケースでの支援構築を学びます。検討のあり方や、検討した内容をどのように実演するのか学びます。

大正大学 心理社会学部 臨床心理学科教授
公益財団法人 日本ダウン症協会 代表理事

玉井 邦夫

※講師及び演題、講義の時間については変更することもあります。



玉井 邦夫

臨床心理士。山梨大学教育人間科学部准教授を経て、現在、大正大学心理社会学部臨床心理学科教授。公益財団法人日本ダウン症協会代表理事。日本発達障害連盟理事。全国心身障害児福祉連盟評議員。著書に「発達障害の子どもたちと保育現場の集団づくり 事例とロールプレイを通して」(かがわ出版)、「不思議だね!? ダウン症のおともだち」(ミネルヴァ書房)、「本当はあまり知られていないダウン症のはなし」(神奈川 LD 協会)など。

講師紹介

酒井 康年

作業療法士、感覚統合療法認定セラピスト、日本感覚統合学会インストラクター。知的障害の特別支援学校教諭を務めた後、作業療法士の資格取得。障害の有無や年齢にかかわらず、子どもたちが持っている可能性を形にすることを大切に、地域の子ども支援、保護者支援を実践している。

